

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 5 月 19 日現在

機関番号：12501

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24720147

研究課題名(和文) 近現代ロシア文化論の新たな構築 - - テキストと視覚芸術をめぐる総合研究

研究課題名(英文) History of Russian Modern and Contemporary Culture. Study in Literature and Art

研究代表者

鴻野 わか菜 (KONO, Wakana)

千葉大学・文学部・准教授

研究者番号：50359593

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題では、ロシア近現代文化史を理解する上できわめて重要な要素である文学と視覚芸術の相関関係を考察した。ドミートリー・プリゴフ、イリヤ・カバコフ、レオニート・チシコフ、ウラジーミル・ナセトキン、ターニャ・バダニナ、フセヴォロト・ネクラソフ、キリル・メドヴェージェフらの作品をロシア近代文化と比較対照しつつ研究し、ロシア文化史のパラダイムを新たに構築した。また、ロシア絵本、アーティストブックの研究にも取り組んだ。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to reveal strong connections between literature and art in Russian modern and contemporary culture. The researcher analyzes Dmitry Prigov, Ilya Kabakov, Leonid Tishkov, Vladimir Nasedkin, Tanya Badanina, Vsevolod Nekrasov, Kirill Medvedev's works through comparative analysis of Russian Modern Culture to show the paradigm of cultural history. This study also deals with Russian children books and artists books.

研究分野：ロシア文学、ロシア美術、ロシア文化、ロシア児童文化

キーワード：ロシア文学 ロシア文化 ロシア美術 現代詩 コンセプチュアリズム 現代美術 児童文化 絵本

1. 研究開始当初の背景

(1) 視覚芸術と文学の密接な関係は、ロシア近現代文化の重要な特徴であり、ロシア文化を理解するためにはその相関関係に注目することが必要不可欠である。しかし、従来の研究史においては、文学と視覚芸術の相関関係を考察する研究が不十分であった。

(2) 日本では、ロシア現代詩、ロシア現代美術に関する研究が少なかったため、社会においても隣国の現代文化に接する機会が限定されていた。

2. 研究の目的

(1) 文学と芸術の両方の分野で制作を行う作家ドミートリー・プリゴフ、レオニート・チシコフ、イリヤ・カバコフらの研究を通じて、各作家の研究を深める。

(2) 現代ロシアの視覚文化(ウラジーミル・ナセトキン、ターニャ・バダニナ、アレクサンドル・ポノマリョフ等)の各作品における文学的源泉、作家の書いたテキスト等の分析を行う。

(3) 文学と視覚芸術の統合形式であるロシアの絵本、児童文化について、他国の作品と比較しつつ、その形式、文体、内容の特徴を解明する。

(4) 20世紀ロシア文化の重要な現象であり、作家と芸術家の共同体であったモスクワ・コンセプチュアリズム・サークルに注目し、作家・作品分析を行う。

(5) 上記の研究をふまえて、文学と芸術の相関関係という視点から、近現代ロシア文化の特徴を総合的に考察し、ロシア文化を理解するための視座を構築する。

(6) 研究成果は、論文、学会で発表するだけでなく、国内外の美術館による展覧会・日本の地方自治体が開催する現代国際芸術祭への協力(ロシア現代美術)、翻訳(ロシア現代詩、児童文学、絵本)、レクチャー、講演等で、社会に広く還元する。

(7) 日本においてロシア現代詩・視覚文化に取り組む研究者は少数であることから、研究成果は教育にも還元し、研究・文化を通じて日露相互理解と国際交流を促進する次世代の人材を育成する。

3. 研究の方法

(1) 資料の収集、読解、分析

(2) 作家への取材、フィールドワーク
(3) 国内外の研究者とのセミナー、意見交換(ロシア人文大学他)
(4) 学会発表、論文・研究ノート・論考出版
(5) 学術発表に対するフィードバックの検討

4. 研究成果

(1) ドミートリー・プリゴフの現代詩および美術作品について、プリゴフ財団、トレチャコフ美術館等の協力を受けて資料を収集し、プリゴフのソ連観・芸術観についての論考を公表した。

また、イリヤ・カバコフのインスタレーションとそのテキストについて、研究発表を行った。

ソ連時代の非公認芸術の中でも、プリゴフ、カバコフ、エリク・プラトフは、ソ連の表象を制作課題とした作家であり、三者の表現方法・思想を比較することで、1960-70年代のロシア文化の見取り図の一部を作成することができる、きわめて重要な作家である。本研究課題では、プラトフ、カバコフに取材を行い、貴重な資料を収集することができた。その資料にもとづく研究成果、およびプリゴフに関するより総合的な研究成果は、2015年度以降に発表する予定で準備を進めている。

(2) 文学と視覚芸術の統合形式であるアーティストブック・絵本およびその他の作品について、モスクワのレオニート・チシコフらのもとで資料を収集し、チシコフの作品全般を扱う論文を発表した。また、チシコフの絵本を翻訳出版した。

(3) ロシア詩の特徴である「朗読会」という形式に着目し、歴史的な経緯をふまえた上で、ソ連崩壊前後から現在までの詩の朗読会の変遷について論考を発表した。

詩の朗読会の形式と内容の変遷は、ペレストロイカ期から現在までのロシア社会・文化の変化を反映しており、ロシア現代文化史を理解する上で、きわめて重要な要素である。

また、ロシア現代詩を代表するフセヴォロト・ネクラースフの詩についての論考と翻訳を発表した。ネクラースフは、視覚詩を書いた点、および現代美術に深い関心を持ち、美術に関する詩を多く書いている点で、ロシアにおける文学と視覚芸術の相関関係を理解する上で重要な詩人である。

なお研究に取り組む中で、ロシアにおけるネクラースフ詩研究の第一人者であるミハイル・スホーチン、ネクラースフに影響を受けた美術作家ポノマリョフ、ナセトキンらと

討議を行う機会を得た。

(4)ロシア現代詩・児童文化・視覚文化研究成果を、翻訳出版、メディアでの解説、国内外の美術館および日本の地方自治体が開催する展覧会・国際現代芸術祭・映画祭への協力(カタログ翻訳、レクチャー、現代ロシア美術コーディネーター)を通じて、社会と教育の場で還元することができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

鴻野わか菜「大地の作家——ウラジーミル・ナセトキン」『文学と歴史——表象と語り』人文社会科学研究所プロジェクト報告書第289集、鴻野わか菜編(千葉大学大学院人文社会科学研究所, 2015年)43-54頁. 査読無

鴻野わか菜「空への階段 ターニャ・バダニナの芸術」『人文社会科学研究所』第30号(千葉大学人文社会科学研究所, 2015年)24-36頁. 査読無
http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/AA12170670/18834744_30_24-36.pdf

鴻野わか菜「ロシアのパフォーマンス・アート「ヴァイナー」&「プッシー・ライオット——身体と社会」『社会システム<芸術>とその変容——現代における視覚文化/美術の理論構築 研究成果報告書』, 2014年, 8-17頁. 査読無

[学会発表](計3件)

鴻野わか菜「イリヤ・カバコフ/ソ連文化/グローバル・アート・ワールド——『彼らはのぞきこんでいる』を鑑賞するための5つのキーワード」「ロシア文化の悲劇 国家崩壊期の芸術」2014年3月8日, 名古屋ガーデンパレスホテル(愛知県・名古屋市)

鴻野わか菜「ロシア現代美術のシステムの変容——ソ連崩壊以後」「総括コロキウム: 社会システム 芸術 とその変容」2014年2月1日, 東京藝術大学千住キャンパス(東京都・足立区)

鴻野わか菜「70年代ソ連のパフォーマンス・アート——非公式活動のゆくえ——」公開コロキウム「社会システムにおける身体/アート」, 2013年6月23日, 立命館大学衣笠キャンパス(京都府・京都市)

[その他](計20件)

(1) 研究ノート

鴻野わか菜「新生ロシア映画におけるチェチェンの表象」『千葉大学比較文化研究』第2号(千葉大学文学部比較文化論講座, 2014年)111-126頁. 査読無
http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/hikakubunka/hikakubunka_no.2_111_126.pdf

鴻野わか菜「翻訳と改題 空と大地のあいだで——フセヴォロト・ネクラソフ」『人文研究』第43号(千葉大学文学部, 2014年)181-197頁. 査読有

鴻野わか菜「現代ロシア詩人の肖像——ドミートリー・プリゴフ」『千葉大学比較文化研究』創刊号(千葉大学文学部比較文化論講座, 2013年)150-155頁. 査読無
http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/hikakubunka/hikakubunka_no.1_150_155.pdf

鴻野わか菜「ソ連崩壊後の文学——詩の朗読会の歴史」『スラヴィスチカ』No.23(東京大学スラヴ語スラヴ文学研究室, 2013年)267-281頁. 査読有
<http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/dspace/bitstream/2261/54256/1/SLA0280016.pdf>

(2) 論評

鴻野わか菜「わたしと子どもの本」『子どもの本だより』124号(徳間書店, 2014年)8頁. 査読無

鴻野わか菜「連続する過去と現在 ロシアで現代美術展 マニフェスタ10」『読売新聞』(文化27面)2014年10月9日. 査読無

鴻野わか菜「「来たれ、見よ！」めくるめくロシア映画の世界」『爆音通信』(爆音映画祭リーフレット, 2012年)頁無. 査読無

Вакана КОНО. Искусство будущего. Чернобыльские фотографии Сергея Шестакова // Мультмедиа Арт Музей, Москва. 28 апреля 2012.

鴻野わか菜「未来の芸術——セルゲイ・シエスタコフのチェルノブイリの写真」『モスクワ・マルチメディア美術館 セルゲイ・シエスタコフ展リーフレット』2012年4月28日. 頁無. 査読無

(3) 書評, カタログ評

鴻野わか菜「『松本瑠樹コレクション ユートピアを求めて ポスターに見るロシア・アヴァンギャルドとソヴィエト・モダニズム』」『ロシア語ロシア文学研究』第46号(日本ロシア文学会, 2014年)164-170頁. 査読有

鴻野わか菜「片山ふえ『ガガです、ガカの——ロシア未来派の裔ゲオルギイ・コヴェンチューク』』『日本とユーラシア』2013年12月号(ユーラシア協会, 2013年)頁無. 査読無

(4) 翻訳

鴻野わか菜 レオニート・チシコフ『かぜをひいたおつきさま』(徳間書店, 2014年) 24頁.

鴻野わか菜, 古賀義顕 キリル・メドヴェージェフ「ぼくのファシズム(真理をいくつか)」『現代思想』2014年7月号(青土社, 2014年) 224-245頁.

初山昌夫, 鴻野わか菜他『国立トレチャコフ美術館所蔵 イリヤ・レーピン展』企画・監修: 神奈川県立近代美術館他(アートインプレッション, 2012年) 224頁.

(5) 講演, レクチャー, 司会

鴻野わか菜「アンドレイ・ペールイ生誕135年パネル」「ワークショップ——2015年ICCEES 幕張大会参加に向けて」日本ロシア文学会, 2013年11月3日, 東京大学(東京都・文京区)

鴻野わか菜「甦るレーピン——移動派の現代性」2013年4月21日, 神奈川県立近代美術館葉山(神奈川県・三浦郡)

鴻野わか菜「ロシア・東欧学会/ロシア史研究会/JSSEES/日本ロシア文学会共同シンポジウム《リーダーとリーダーシップを作るもの》」(司会)2012年10月7日, 同志社大学(京都府・京都市)

鴻野わか菜「シンポジウム《現代ロシアとエルミタージュ美術館》」(パネリスト)2012年6月3日, 国立新美術館(東京都・港区)

(6) 展覧会協力等

現代ロシア美術知識提供等 ヨコハマトリエンナーレ2014(2014年)

展覧会カタログ協力『魅惑のコスチューム: バレエ・リュス展』, 国立新美術館(2014年)

現代ロシア美術コーディネーター, ワークショップ協力 中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックス(2014年)

6. 研究組織
(1) 研究代表者

鴻野 わか菜 (KONO WAKANA)
千葉大学・文学部・准教授

研究者番号: 50359593